

いきいき子ども！
あたたか家族！
はつらつ先生！
地域が支える
教育の板橋

教育の板橋

学び合う、
学び続ける
人づくり！
地域を創る
教育の板橋

GIGAスクール構想の実現をめざした授業 ～区内の学校の取組を紹介します～

問合 活用事例の内容に関すること 指導室指導主事 ☎3579-2643
整備・機器の内容に関すること 教育支援センター 教育ICT推進係 ☎3579-2196

緑小学校 第5学年社会科「米づくりのさかなな地域」

授業概要

- 食料生産についての学習において、田植えから収穫までの稲作体験活動を通じて、農業は、自然条件を生かして営まれていることや国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを学ぶ。
- 今回の授業では、山形県JA庄内みどりとGoogleMeetを使ってオンラインでつながり、実際の農作業の様子をドローンでの空撮も交えて児童に見せる。その後、米作りの技術や農業について説明を受けこれからの農業について提案する。

使用した機材・アプリ

- ★アプリケーション
①GoogleMeet ②オクリンク
- ★機材
①Chromebook ②電子黒板

本時の授業 JA庄内みどりとのオンライン授業

文部科学省の
築副大臣が視察する
緊張感のなか、授業は
開始されました！



1 ドローンからの映像を見る！
農家の方がドローンを操作して田んぼを撮影。普段は見ることのできない広大な田んぼの全容を、Meetで配信してもらい電子黒板で見ました。

オクリンクとは、
自分の考えをカードに
表現し、共有できる
授業支援ソフトです。

2 グループでの協働学習
グループにわかれて、これからの米づくりの課題を話し合いました。



児童からは
「すごい！」と
驚きの声
がありました。

3 オクリンクで意見集約
グループでまとめた意見を代表者がオクリンクで提出。電子黒板に投影して農家の方から意見をもらいました。



下赤塚小学校 第5学年社会科「水産業のさかなな地域」

授業概要

- 「教科等横断的な視点に立ったカリキュラム」において、「水産業」を学習の中心として取り上げ社会科の発展学習を実践。
- 我が国における食料生産の背景を理解し、生産者や消費者の立場からこれからの食料生産や食生活の在り方を考え、持続可能な社会の構築に向けて主体的に考え行動する児童を育てる。

使用した機材・アプリ

- ★アプリケーション
①Zoom ②YouTube
- ★機材
①Chromebook ②電子黒板
③実物投影機

本時の授業 (一社)フィッシャーマン・ジャパンとのオンライン授業

1 オンラインでつながる！
Zoomを使用して、宮城県石巻市(一社)フィッシャーマン・ジャパンと下赤塚小学校をつなげ直接漁師の方と話ができるようになりました。団体紹介の際は、YouTubeに掲載されている動画を再生して見ました。



2 オンラインでの意見交流
事前に児童が考えた「これから水産業を続けていくための提案」について、団体の講師の方(漁師)から意見をもらいました。その意見について、児童が「賛成」「反対」を自ら考えて発表しました。



学校訪問の様子を公開しています

教育長や教育委員会の職員が訪問した学校の様子を随時区ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。スマートフォン・携帯電話で読み取り、区ホームページへ



▽問合=教育総務課庶務係 ☎3579-2603

板橋区立小・中学校給食費補助金制度 (給食費無償化)について ～板橋区立小中学校の給食費を無償化します～

板橋区では、昨今の急激な物価高騰の中、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を強化することを目的に、令和5年9月から学校給食費の無償化を実施します。



1 対象者

板橋区立の小・中学校に在籍し、給食の提供を受ける児童・生徒の保護者

2 手続き方法

『板橋区立小・中学校給食費補助金同意書兼委任状』を、在籍する学校に児童・生徒1名につき1枚提出してください。

『板橋区立小・中学校給食費補助金同意書兼委任状』を期日までに提出されなかった場合、学校給食費は保護者負担となることがあります。必ずご提出ください。

3 補助の方法

保護者の委任を受け、月ごとに各学校長が区へ補助金交付を申請します。

申請内容を審査後、学校給食費相当の補助金を区が各学校に交付します。

4 補助金額(月額)

小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	
4,370円	4,750円	4,940円	5,735円

■委任状に関する注意事項

- ・ひとりのお子さんにつき、1枚の委任状を提出してください。
- ・委任状の紛失や書き損じの場合は、区ホームページからダウンロードし印刷してください。
- ・委任状は、同じ学校に在籍する限り有効です。

- ・年度途中で転入学をした場合は、就学時に学校から委任状が配付されます。学校指定の締め切り日までにご提出ください。
- ・区立学校間で転校した場合は、転校先の学校に再度提出してください。

■よくあるQ&A

- Q1** 区外在住で、板橋区立の学校に通っている場合は？
A1 対象です。板橋区立の小・中学校に在籍する児童・生徒が対象となります。
- Q2** 区内在住で、他自治体の学校に通っている場合は？
A2 対象外です。板橋区立の小・中学校に在籍する児童・生徒のみが対象となります。
- Q3** なぜ委任状の提出が必要なのか？
A3 区から学校長へ給食費を補助金として支給するため、所属学校長へ補助金の申請や受給などを委任する意思表示として、委任状の提出をお願いしています。
- Q4** 兄弟で同一の学校に通っているため、委任状の提出は1枚で良いか？
A4 ひとりのお子さんにつき1枚の委任状の提出をお願いしています。別々にご提出ください。
- Q5** 氏名や住所など、ゴム印を使用しても良いか？
A5 保護者氏名は、本人確認のため、自署していただく必要があります。保護者氏名以外は、ゴム印での対応が可能です。
- Q6** 保護者氏名は世帯主でなければいけないのか？
A6 お子さんの保護者であれば、世帯主以外の方でも可能です。

問 合

学務課学校給食係 ☎3579-2617

板橋区コミュニティ・スクール(iCS) ～CS委員会における熟議について～

■板橋区コミュニティ・スクール(iCS)について

iCSは、コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)と学校支援地域本部を両輪・協働の関係で運営し、教育活動を支援する仕組みで、令和2年度より区内区立全小中学校で導入しています。

iCSの仕組みを活用し、様々な取組を学校・家庭・地域が一体となって行うことにより、「子どもたちのより豊かな学びの実現」や「先生が子どもたちに向き合う時間や授業づくりのための時間の確保」などにつなげ、「地域とともにある学校(※)」をめざします。

(※)学校が地域の方と目標やビジョンを共有し、地域一体となって子どもたちを育てる学校のことを言います。「地域の子どもは地域で育てる」ことで、子どもたちの明るく、元気で前向きな成長へつなげることが期待できます。

■成増ヶ丘小学校のCS委員会の様子を紹介いたします

成増ヶ丘小学校では、「今後増々深めたい地域と学校の連携」をテーマにCS委員の皆さんと全教員でグループに分かれて熟議を行い、教員が困っていること、地域の方に助けてほしいことなどをCS委員の皆さんに共有しました。熟議のテーマについて副校長先生

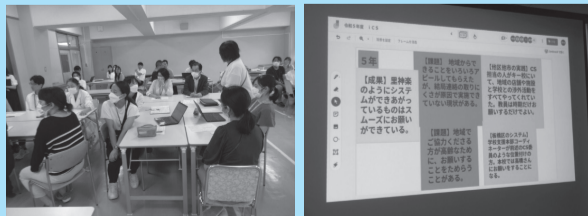
は、「こんな学校にしたい！と理想を語るだけではなく、本音で話し合い、地域と学校が助け合えるきっかけになってほしいという思いがある」と話していました。

教員の困りごとについて、水泳の授業や体力テストなどにおける人手不足と、まちたんけんでの知識不足などが意見として多く挙がりました。

まちたんけんは地域のことを深く知らない教員が行うよりも、地域をよく知る方にお手伝いしてほしいという意見がきっかけで、実際にボランティアとしてお手伝いしていただくという話まで進んでいる班もあり、充実した熟議となりました。

その他にも、地域の方の人脈によるゲストティーチャーの紹介や職場見学先の提案などがCS委員の方から提案され、「そんなことまでやっていただけるのか！」と驚きの声が上がっていました。

CS委員会は、教員が毎回出席することが



成増ヶ丘小学校CS委員会の様子

難しく、年に一回程度しか合同で熟議を行うことができない学校がほとんどです。CS委員の方々と教員の関係を一度きりで終わらせないために、成増ヶ丘小学校では、CS委員の方々と教員が直接連絡を取ることができる仕組みをつくりました。

熟議の中で、教員が困っていることや悩みなどを共有しましたが、その場だけで終わらず、話し合った内容を具体的に実行に移すことができれば、CS委員会での熟議がより意味のあるものになるでしょう。

■iCSフォーラムを開催しました

7月21日(金)に対面とオンラインのハイブリットで開催し、90名以上の方にご参加いただきました。

iCSの事例紹介、(一社)きてきて先生プロジェクト代表理事 香月よう子氏による講義「学校課題を議論するための“熟議”とは?」、グループワークが行われ、熟議について考えや知識を深める内容となりました。参加者のアンケートでは「他校のCS委員会の様子が分かり、熟議の進め方の参考になった。」という感想が多く寄せられました。

※iCSフォーラムは、二次元コード先のリンクから12月31日までアーカイブ配信を見ることができます。ぜひご覧ください。



問 合

地域教育力推進課地域連携係 ☎3579-2619

いたばし地域クラブがはじまりました ～部活動改革の検討を進めています～

区では、令和5年度から3年間、学校部活動の地域移行に向けて、実践研究モデル事業である「いたばし地域クラブ」を実施しています。令和5年度は、個別クラブとして「女子サッカークラブ」「eスポーツクラブ」「科学技術クラブ」の3つのクラブを5月から開始しています。

中学校の部活動は、少子化の進展や教員の長時間労働が課題となる中、部員が集まらないことや、顧問のなり手不足で廃止される部活動が出てくるなど、その持続可能性に疑問符がつき始めています。このままでは、進学した中学校により、選べる部活動に限られるといった生徒のスポーツ、文化・芸術活動を通じた成長機会の喪失につながりかねません。

そこで、区は部活動の地域移行を通じて、持続可能な仕組の構築に向けて、検討を始めています。まず、実践研究モデル事業として、いたばし地域クラブを立ち上げ、部活動の地域移行後の新しい姿の見える化を図りました。次に、今年4月より「板橋区立中学校部活動地域移行推進ビジョン2030」の策定に着手しています。そして、現在は、区立中学校教員の協力を得てアンケートを実施するとともに、スポーツ・文化芸術関係者、青少年健全育成関係者、保護者などとの意見交換の場として「部活動地域移行協議会」を開催しています。

これらの取組で得られた知見やご意見などを計画作りに生かしながら、区立中学校の部活動改革をしっかりと前へ進めていきます。

■各クラブの活動をご紹介します

「女子サッカークラブ」「eスポーツクラブ」「科学技術クラブ」が活動を開始してから、約4か月が経ちました。実際行っている活動の一部をご紹介します。

なお、現在も引き続き参加者を募集しています。体験入会もできますので、ぜひお気軽に申込みください。※eスポーツクラブは7年生のみ定員に達しているため、入会ができません。



女子サッカークラブ



授業以外でサッカーをやるのが初めて、というメンバーもいる中、コーチからコツを教わりながらドリブルやシュートなどの練習を行っています。

7月にはゲストに現役で活躍しているプロの女子サッカー選手を迎えて練習を行いました。

4か月で、基礎的な技術が向上した生徒も増え、これからの成長が楽しみなチームとなってきました。

eスポーツクラブ



競技としてゲームをする、というのはただゲームで遊ぶのとは少し違うようで、元プロの講師のもと、個人の技術を磨くだけでなく、チームメイトとどうしたら勝てるのか、顔を突き合わせてマップや相手の特徴を覚え、それにあった戦略を考えながらプレイしています。

今後は、練習の成果を発揮できるよう、eスポーツ大会の参加などをめざします。

科学技術クラブ



普段の活動では、ロボットを動かすために必要な数学の基礎を学んでいます。

ロボット実習では、いざ実際にロボットを動かしてみるも、なかなか思ったとおりに動かないことがあります。なぜうまく動かないのか、ロボットを動かすための計算式を見直すなどし、時には生徒同士で話し合いをしながらグループワークを行っています。

また、8月の社会科見学では、企業の最新技術に関する話などを興味津々の様子で聞いていました。

問 合 教育総務課部活動改革担当係 ☎3579-2261

令和5年度(第53回)板橋区少年野球親善大会を実施しました!

今回で第53回を迎える板橋区少年野球親善大会を実施しました。子どもたちの安心・安全を第一に考慮し、気温の高い午後の時間を回避した試合時間設定(ナイター等)や、ダブルヘッダーの廃止、投球数制限などの対策を講じ、全30試合を行いました。各選手が日頃の練習の成果を発揮し、グラウンドでは熱戦が繰り広げられました。

■目的

少年が野球を通じて、ルールを守ることの大切さを学び、広く区内の少年達と交流を深めることによって、少年の健全育成を図ることを目的とする。

■大会期間

令和5年7月28日(金)～8月1日(火)

■場所

区立小豆沢・城北野球場

■参加チーム

区内18地区の青少年健全育成地区委員会が推薦した

小学生の部 17チーム

中学生の部 16チーム

■結果

【小学生の部】 優勝：仲宿ファイターズ(仲宿地区)
準優勝：徳丸親和パンダース(徳丸地区)
第三位：舟渡ベースボールクラブ(舟渡地区)
成増南ジャガーズ(成増地区)

【中学生の部】 優勝：中台クラブ(中台地区)
準優勝：志三中クラブ(蓮根地区)
第三位：赤二中クラブ(成増地区)
高島平スターズ(高島平地区)

問 合 地域教育力推進課青少年係 ☎3579-2488

教育広報への意見を募集します

より良い広報紙作成のため、みなさんからのご意見・ご提案を募集します。

▽提出方法＝郵送・FAX・Eメール ▽問合＝教育総務課庶務係(〒173-8501) ☎3579-2603 ☎3579-4214 ✉kyosho@city.itabashi.tokyo.jp

教育委員再任のお知らせ



【教育委員】長沼 豊(再任)

任期：令和5年7月13日から令和9年7月12日まで

問 合 教育総務課庶務係 ☎3579-2603

板橋区LINE公式アカウントが開設しました!

令和5年7月に、板橋区LINE公式アカウントが開設しました。災害情報やイベント・生活に役立つ情報をお届けします。受け取りたい情報を、カテゴリ別に選択いただくことで、皆さまの欲しい情報をお届けします。

【カテゴリー例】

- 子育てなど暮らしに関する情報・イベント情報
- 防災に関する情報
- ごみの収集日のお知らせ など

その他にも、多彩なメニューから、オンラインサービスや暮らし・区の魅力など、区の知りたい情報を簡単に探すことができます。この機会にぜひ、友だち追加をお願いします!

友だち追加方法

- ①二次元コードから登録
 - ②ID検索から登録
- LINEアプリホーム画面のID検索画面で「@itabashi」で検索し、友だち追加



問 合

情報配信に関すること 広聴広報課報道係 ☎3579-2025
利用方法に関すること IT推進課DX推進係 ☎3579-2043

区の情報・魅力をお伝えします!

広報いたばしをご覧ください

「広報いたばし」は、毎月第1～4土曜日(一部の合併号を除く)に発行しています。ぜひ、ご覧ください。

■配布方法・場所

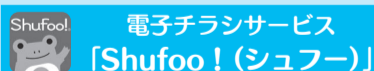
- 新聞折り込み(朝日・産経・東京・日経・毎日・読売の日刊6紙)
- 区施設(区役所・地域センター・区民事務所・図書館・体育館など)
- 区内各駅の配布スタンド
- 区内公衆浴場
- 区内病院(病床数20床以上・一部を除く)
- イオン板橋ショッピングセンター、イオンスタイル板橋前野町、ダイエー西台店、無印良品板橋南町22、コモディイイダ・よしや・ライフ・セブンイレブン・ファミリーマートの区内各店舗
- 私立保育園・幼稚園
- 区ホームページ など

アプリで「広報いたばし」を配信しています



行政情報アプリ
「マチイロ」

アプリを開いて、読みたい号をダウンロードするだけで、広報紙を読むことができます。



電子チラシサービス
「Shufoo! (シュフー)」

広報紙のほか、地域の店舗チラシも見ることができ、お買い得情報などを確認できます。



多言語対応アプリ
「カタログポケット」

10言語に対応した自動翻訳や音声読み上げなどの機能を利用できます。

※通信料がかかります。
※詳しくは、区公式ホームページをご覧ください。



問 合 広聴広報課広報係 ☎3579-2022

板橋区立中央図書館が
日本図書館協会建築賞を受賞!

令和5年6月8日、板橋区立中央図書館が、「日本図書館協会第39回 図書館建築賞」(主催：(公社)日本図書館協会)の受賞図書館に選ばれました。

■図書館建築賞の概要

図書館建築賞は「優れた図書館建築を顕彰し、これを広く世に知らせることによって、日本の図書館建築の水準の向上に寄与すること」を意図して、昭和60年に日本図書館協会により創設されました。賞の特徴としては、「特定の用途における建築物や建築空間のみ」を対象とし、ソフトとハードの両面から評価されるものであり、建築としての質だけでなく、サービスも審査の対象になります。

この賞を受賞したことは、板橋区立中央図書館では建築と提供されるサービスとが調和しており、どちらも優れていると評価されたことを意味しています。第39回の受賞は1館のみです。

【対象施設】 板橋区立中央図書館

【設計者】 (株)松田平田設計

【施工者】 大成・瀧島建設共同企業体、渡部・アイコウ建設共同企業体、栄幸・豊隆建設共同企業体、(株)木村工業、(株)日立ビルシステム



中央図書館

■受賞理由

- ・人工芝の広場を設け、家族連れの図書館利用のきっかけを生み出すなど、公園と一体となった図書館づくり
- ・ボローニャとの交流から始まった、約3万冊の世界中の絵本と触れ合える「いたばしボローニャ絵本館」の取組
- ・館内の吹き抜けも緩やかにズレながら繋がり、上階に行くほど静かになる音のゾーニング
- ・環境に配慮し、室内から公園の緑が見えつつも、日射遮蔽を両立させた水平ルーバー
- ・「ベビーカー置き場」などを館内サインでわかりやすく表示し、利用者目線できめ細かく丁寧な図書館づくり

問 合 中央図書館図書館政策係 ☎6281-0291

小・中学校の新入学のご案内を配付します

区内在住で、令和6年4月に区立小・中学校に入学予定の方に、新入学手続きをはじめ、各小中学校の基本情報などを掲載した「新入学に関するご案内」を配付します(新小学1年生には郵送で、区立小学校に通う6年生には在学期で、9月上旬に配付予定)。

●通学区域の学校への入学を原則とします

区では、住所ごとに入学する学校が指定される通学区域を定め、通学区域の学校を入学予定校としてお知らせしています。通学区域の学校へ入学する場合は、手続きなしで優先して入学できます。

●通学区域外の学校への入学を希望する場合は、手続きが必要です

理由があって入学予定校の変更を希望する場合は、学務課(区役所北館6階⑭窓口)、区立小中学校(新小学1年生の書類は区立小学校のみ)、区ホームページにある入学予定校変更希望願に必要事項を記入のうえ、お申込みください。変更希望の理由が一定の基準に該当した場合、変更希望は認められますが、希望者多数で抽選となる場合もあります。手続きについての詳細は、「新入学に関するご案内」をご覧ください。

●入学予定校を変更する場合は慎重に検討してください

変更する学校が入学予定校より遠くなる場合、登下校の時間が負担となるだけでなく、下校後や休日に友達と遊ぶ場所も自宅周辺ではなく、離れた場所になります。また、弟(妹)について、同じ学校への入学が約束(決定)されるものではありません。

変更を希望する場合は、学校公開や学校ホームページなどで学校についてご確認のうえ、通学時の安全性など様々な観点から慎重に検討してください。

●変更希望できる学校の範囲

- ・小学校…通学区域に隣接する区域の学校(適用除外校を除く)
- ・中学校…区内全域

●申込・締切

直接または郵送で、学務課学事係(区役所北館6階⑭窓口、〒173-8501 板橋区板橋2-66-1)

郵送する場合は9月28日(木)消印有効、直接持参する場合は9月29日(金)17時まで

問 合 学務課学事係 ☎3579-2611

教育に関する
広報紙

教育広報「教育の板橋」は1・4・9月に発行しております。また、奇数月には、「いたばし教育チャンネル」を発行し、教育委員会が行っている事業等について情報発信しております。区ホームページをご覧ください。

教育広報



いたばし
教育チャンネル



▽問合＝教育総務課庶務係
☎3579-2603